

研究機関：広島大学

研究課題名：外来患者を対象とした薬剤師による病薬連携の有用性に関する研究
研究責任者名 広島大学病院薬剤部薬剤部 教授 松尾 裕彰
研究期間 2021年6月2日（倫理委員会承認後）～ 2026年 3月31日（解析期間含む）
<p>対象者</p> <p>2020年1月から2025年3月の間に広島大学病院で治療を受け、トレーシングレポート等での病薬連携を実施した患者さん</p>
<p>意義・目的</p> <p>2020年9月より薬局薬剤師は、調剤時だけではなく必要に応じて継続的に薬の使用状況や副作用を把握して服薬指導を行う義務やそれらの情報を病院の医師等に提供する努力義務が法制化されました。これらは、外来患者さんに対して薬局と病院の薬剤師を介した地域連携体制の確立による質の高い医療の提供が期待されています。</p> <p>広島大学病院では、2020年1月より検査値が表示された外来院外処方箋の発行が可能となり、薬局薬剤師より調剤時もしくは電話等での聞き取りによるトレーシングレポート（患者さんから聞き取った薬の服用状況、他の病院からの薬との相互作用の確認や健康食品・サプリメントに関する情報や抗がん薬等による非重篤な副作用発現状況など、即時性の低い情報を主治医へフィードバックするレポート）による病院と薬局薬剤師の連携が現在進んでいます。抗がん薬の注射を受ける患者さんに対して病院薬剤師が注射抗がん薬の実施状況や副作用発現状況に関する文書が手渡され、それらを受け取った薬局薬剤師がそれらの情報を活用した連携も現在進んでいます。</p> <p>本研究では、トレーシングレポート等を通して実施されている病薬連携を通じた外来患者さんに対する有用性と問題点を経時的に明らかにすることで、より良い地域連携を通じた質の高い医療の提供方法の方策を模索・実践します。</p>
<p>方法</p> <p>本研究は薬局薬剤師によるトレーシングレポートと診療録を使用して研究を行います。転記する内容は基本情報、処方内容、副作用情報、アドヒアランス情報等です。</p>
<p>共同研究機関</p> <p>なし</p>
<p>試料・情報の管理責任者</p> <p>広島大学病院薬剤部薬剤部 教授 松尾 裕彰</p>
<p>個人情報の保護について</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
<p>問合せ・苦情等の窓口</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5555 広島大学病院薬剤部 薬剤師 本永 正矩</p>